

適切な避難の考え方(避難の優先順位)とは？

◆避難の考え方が変わっています！

むやみに避難所へ行くのではなく、災害リスクに応じて避難所以外の避難先を検討する「分散避難」の考え方が主流となっています。

◆避難の優先順位

高

①自宅が安全な場合は在宅避難

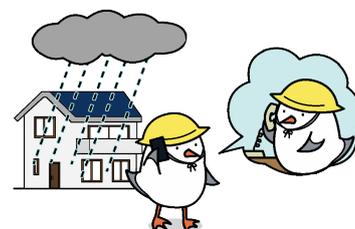
「自宅が浸水しない」あるいは「浸水しても2階など安全な場所がある」場合は、自宅で避難をしましょう。「自宅の水害リスクを的確に把握」し、「水・食料・トイレを十分に備蓄する」ことが重要なポイントです。



②安全な親戚・知人宅への避難

安全な親せき・知人宅があればそちらへ避難しましょう。自宅から移動可能な範囲内であれば、移動手段や移動距離は問いません。

ぜひ、普段からお互いに支え合える関係性を築いてください。



③車中泊避難

自家用車をお持ちの場合は、車中泊避難を検討しましょう。市内大型商業施設などの協力を受け、施設駐車場を車中泊避難者専用の一時滞在場所として開放します。

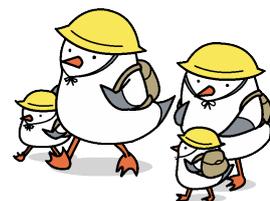
(※詳細は⑨ページで紹介します！)



低

④避難所へ避難

上記①～③のどの方法も難しい場合は、迷わずに避難所へ避難しましょう。



※ 上記、「避難の優先順位」は地震災害の場合も同様ですが、地震の場合には交通網などが遮断され、移動手段や移動できる範囲が制限されてしまいます。

この冊子の1～5ページ【地震編】を確認し、あらかじめ地震の際の避難先や連絡手段についても、家族で話し合っておきましょう。